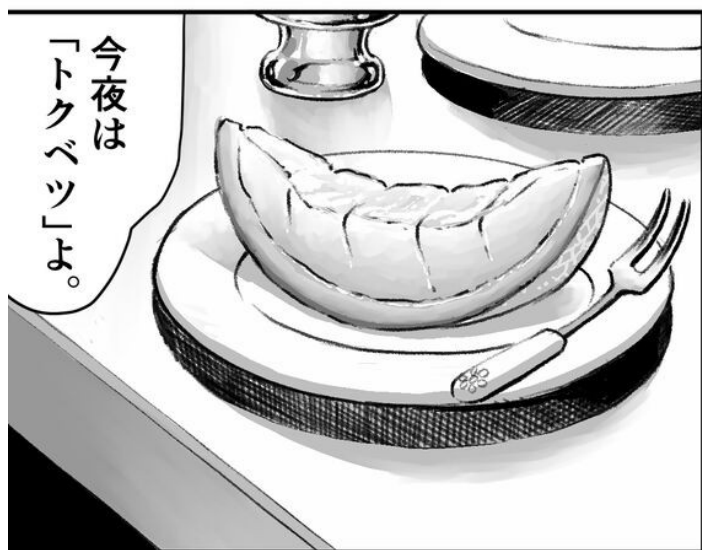
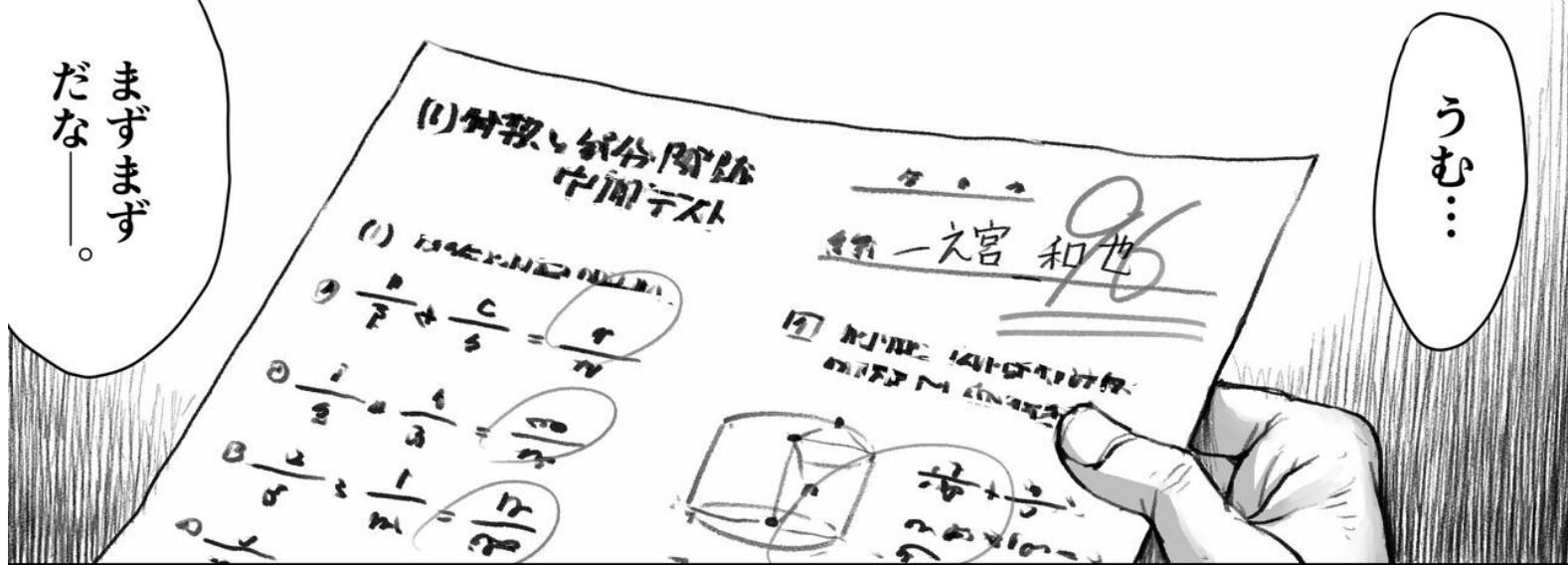




ごちそうさま
でした…。

早くお風呂に
入って明日の予習を
しておくのよ。

「あそこ」へ
行って、

水と塩を取り替えて
きてくれ…。

カズヤ

部屋に戻る
前に…

…はい。

…そういえばあの子、
最近あまり学校に
行きたがらないの。

いじめ
られてるのか？

分からないわ…
私が
理由を聞いても
はつきり
言わないのよ…。

おいおい、
しっかりしてくれよ…
そういう事は全てお前に
任せてるんだから…。

僕の家は
古くからある
神社だ。



境内には
僕と両親が
住む家がある。



祖父母は
僕が生まれる前に
ふたりとも
亡くなっていたので…



この古くて広い家に
僕と両親が3人で
暮らしている。

…そして



この家には家族が
「あそこ」と
呼ぶ場所がある。



名前を呼んでは
いけない場所だ。

原作／脚本／作画
だぶるでっく



協力:
All supporters of
PIXIV FANBOX



制作:
ダブルデック
製作所

妖 詣

—あやかしもうで—



…昔、この村でたくさんの子供が
神隠しにあって消えてしまい、



それを引き起こした
もののけが、この柱に
封じ込められている…
と、僕は教えられてきた。

僕のご先祖がその
もののけをこの柱に
封印してから…



地域の人達からも
敬われている。



僕の家は代々
この柱を守り、

こんな暗くて
不気味な場所…
同級生なら
近づかない
かもしれないけど、
かもしれないけど、



僕は小さい頃から
連れて来られていたので
慣れっこだった。

…それどころか



最近は家や学校にいても
居心地の悪さを
感じるようになった僕は、
この暗くて周りから
閉じられた場所に来ると…

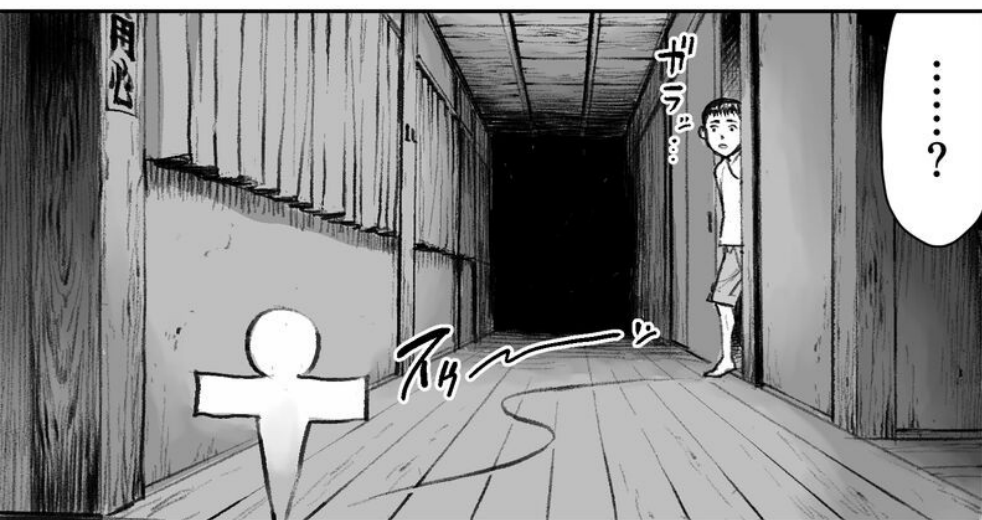
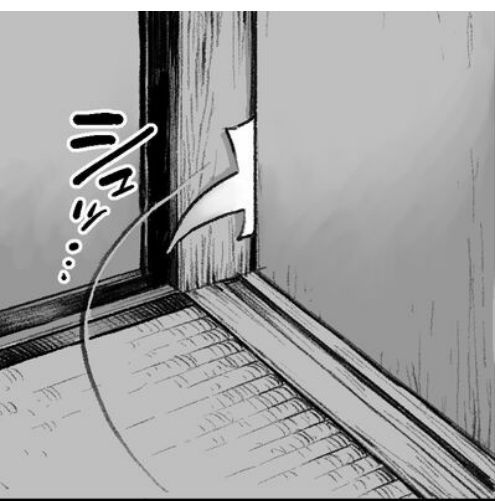
妙に心が安らいだ。

まただ…



ここへ来るとどうして
いつもこうなるんだろ…？

!?







この女の人が…

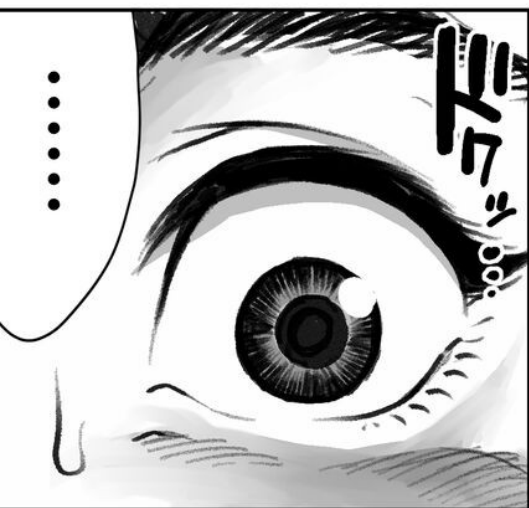
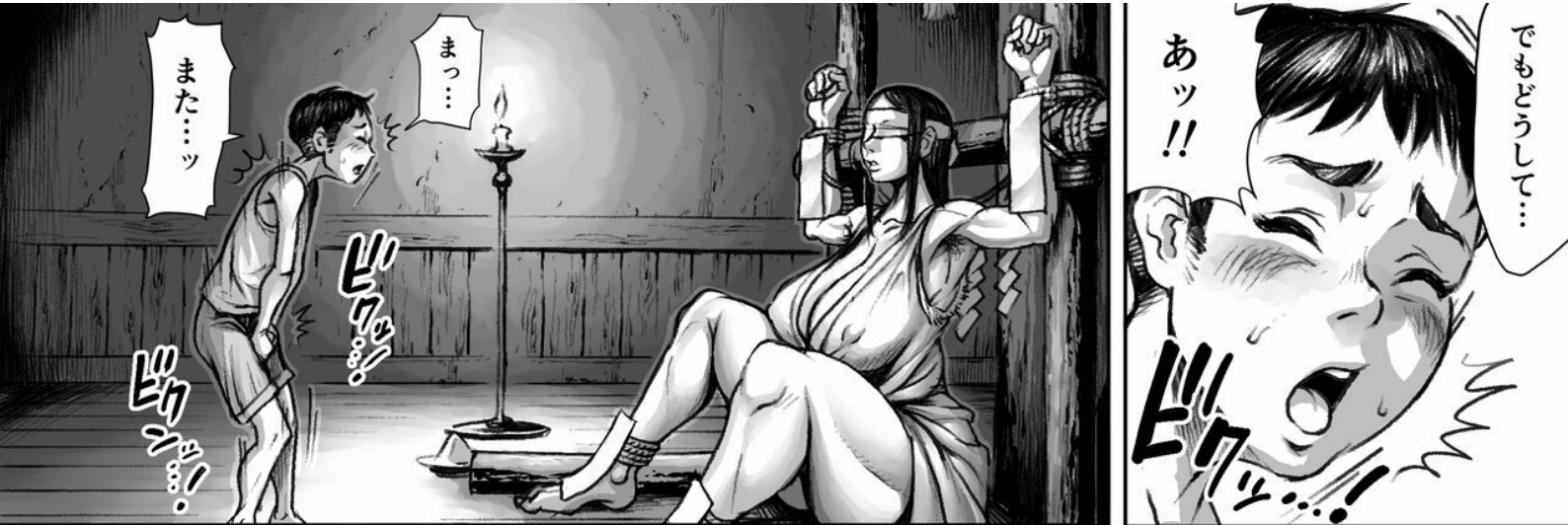


あ…

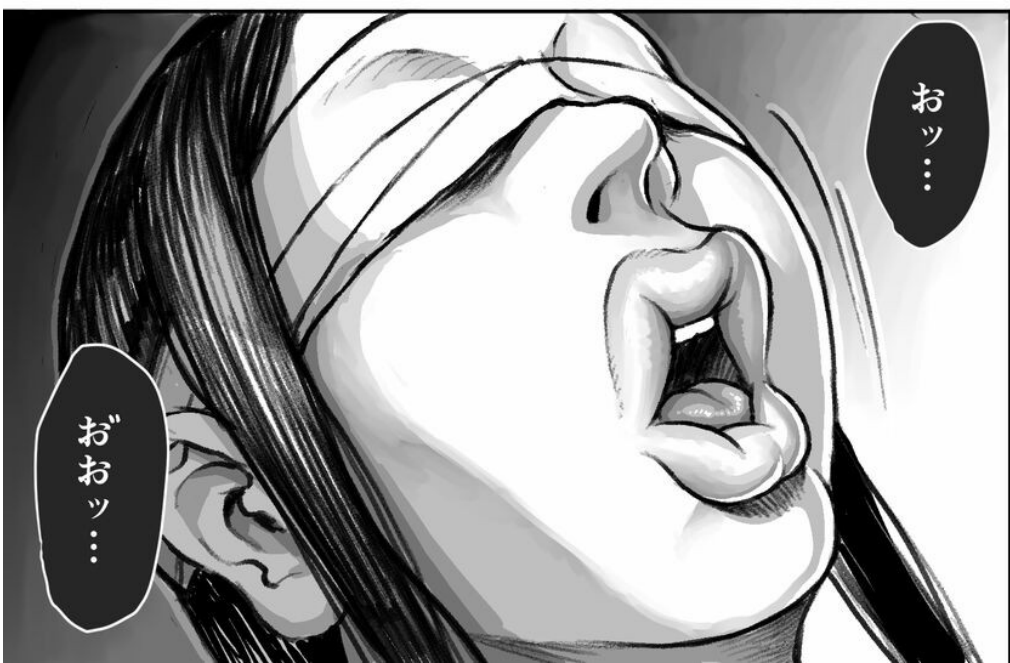
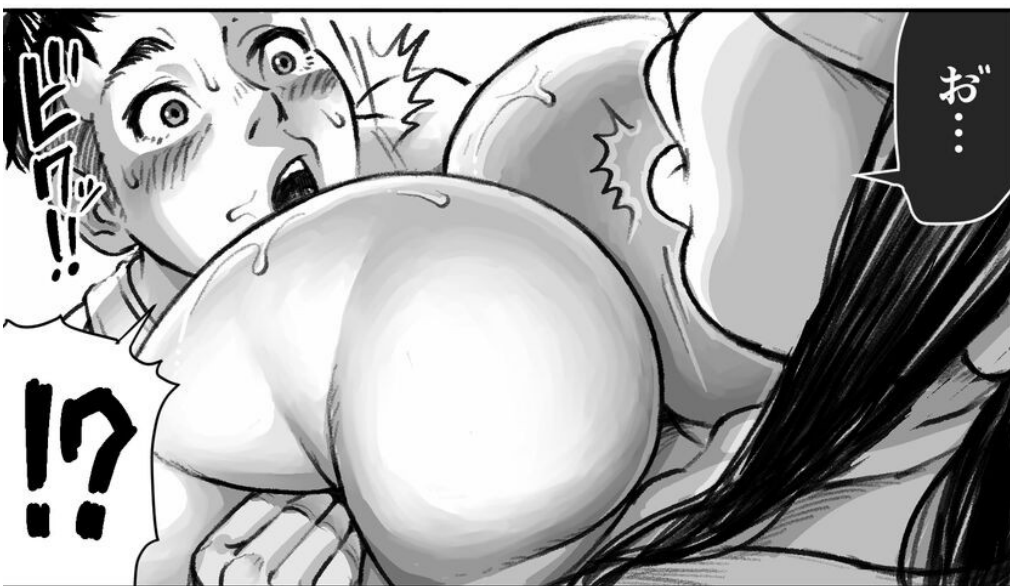


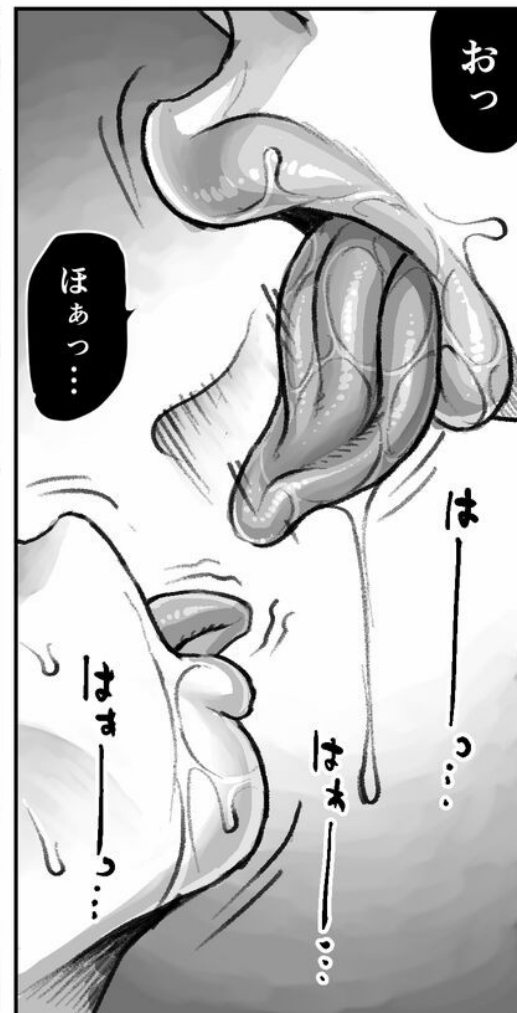
まさか…





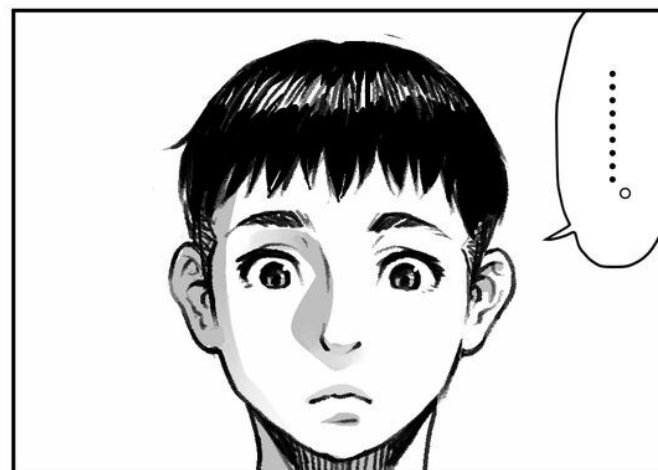


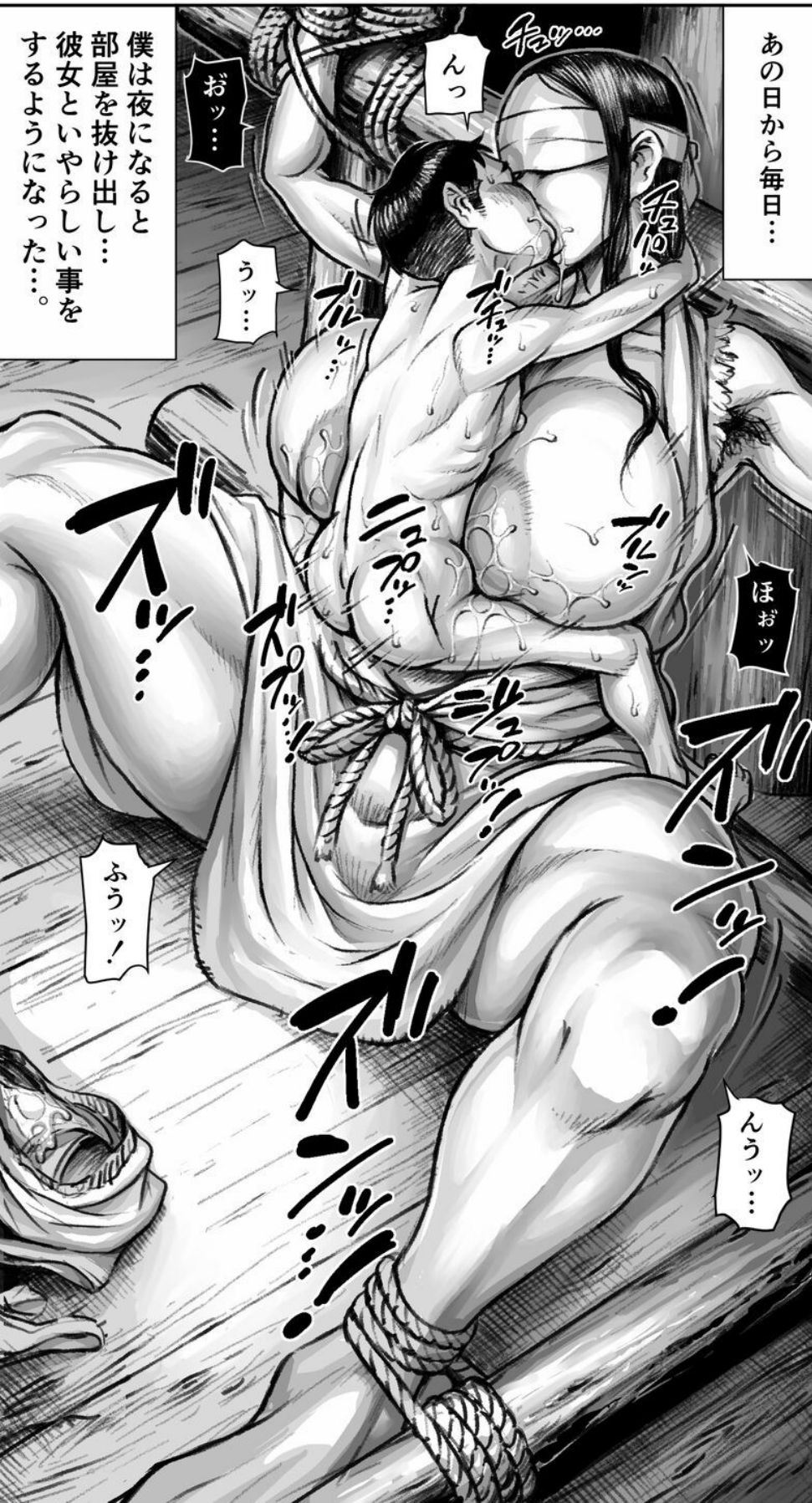




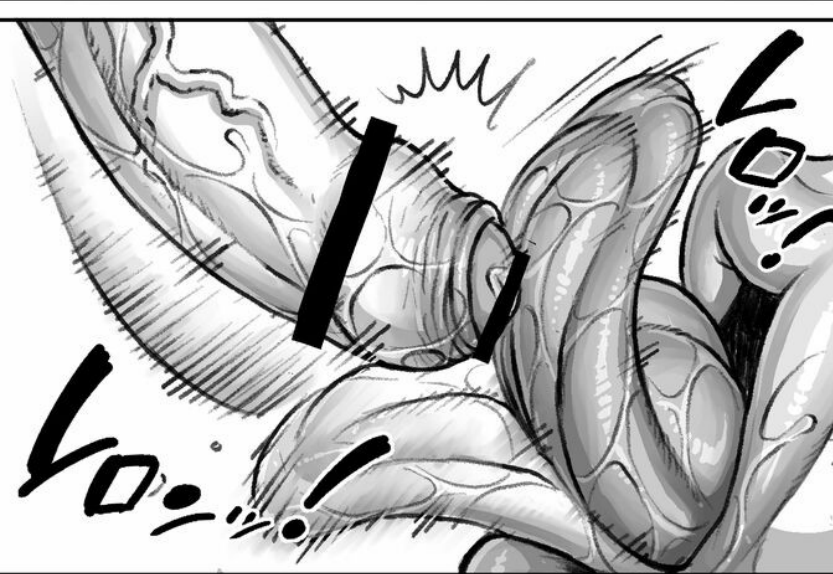
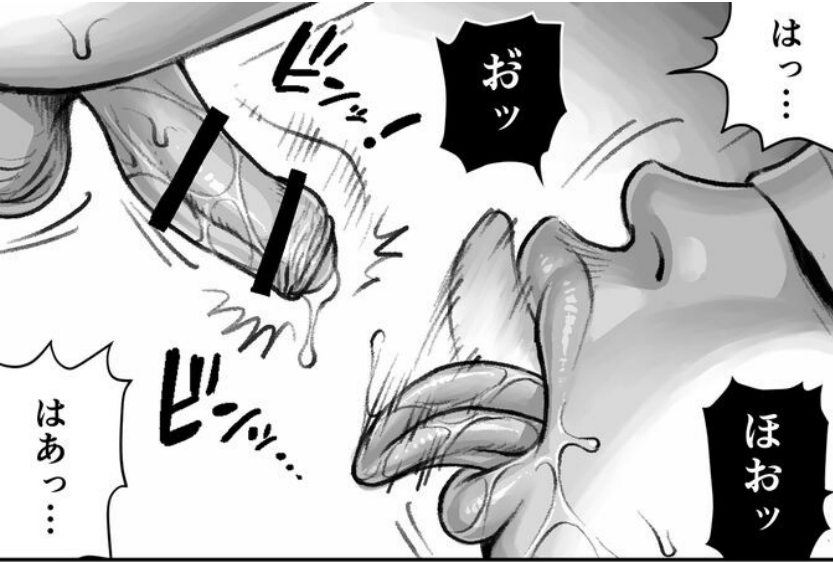


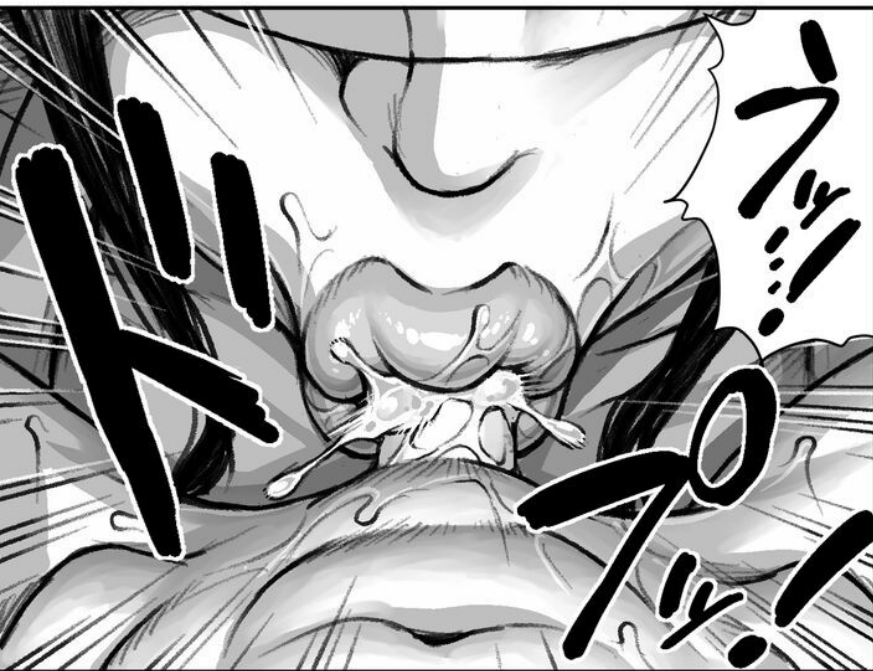
















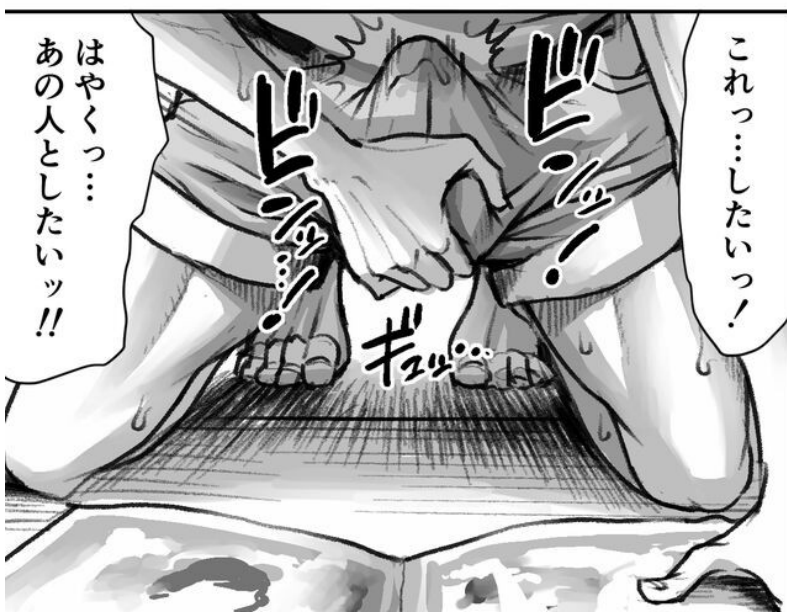
セックス
という言葉は、

クラスの男子達が
ふざけて言うのを
聞いて知っていた。



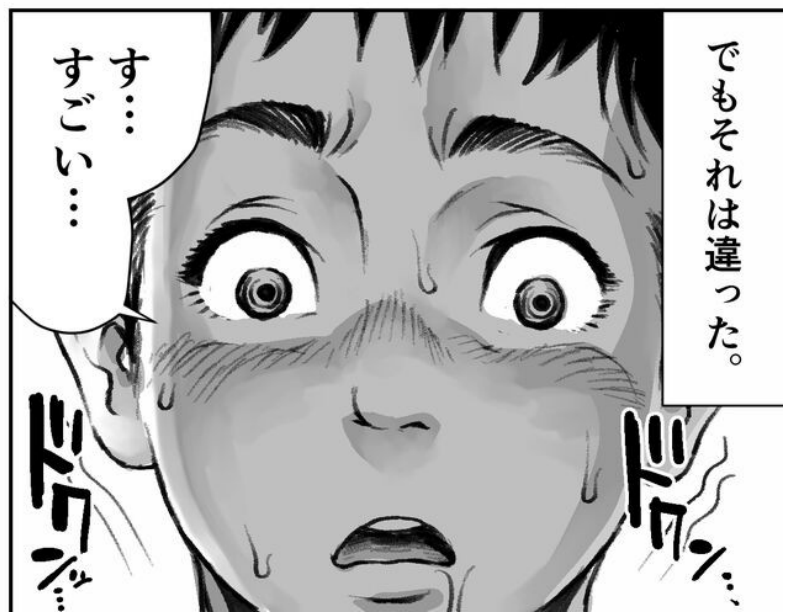
男の人と女の人
がするイヤらしい
事で...

僕は昨日まで
あの人としていた事が
セックスなんだと
思っていた...



これっ...したいっ!

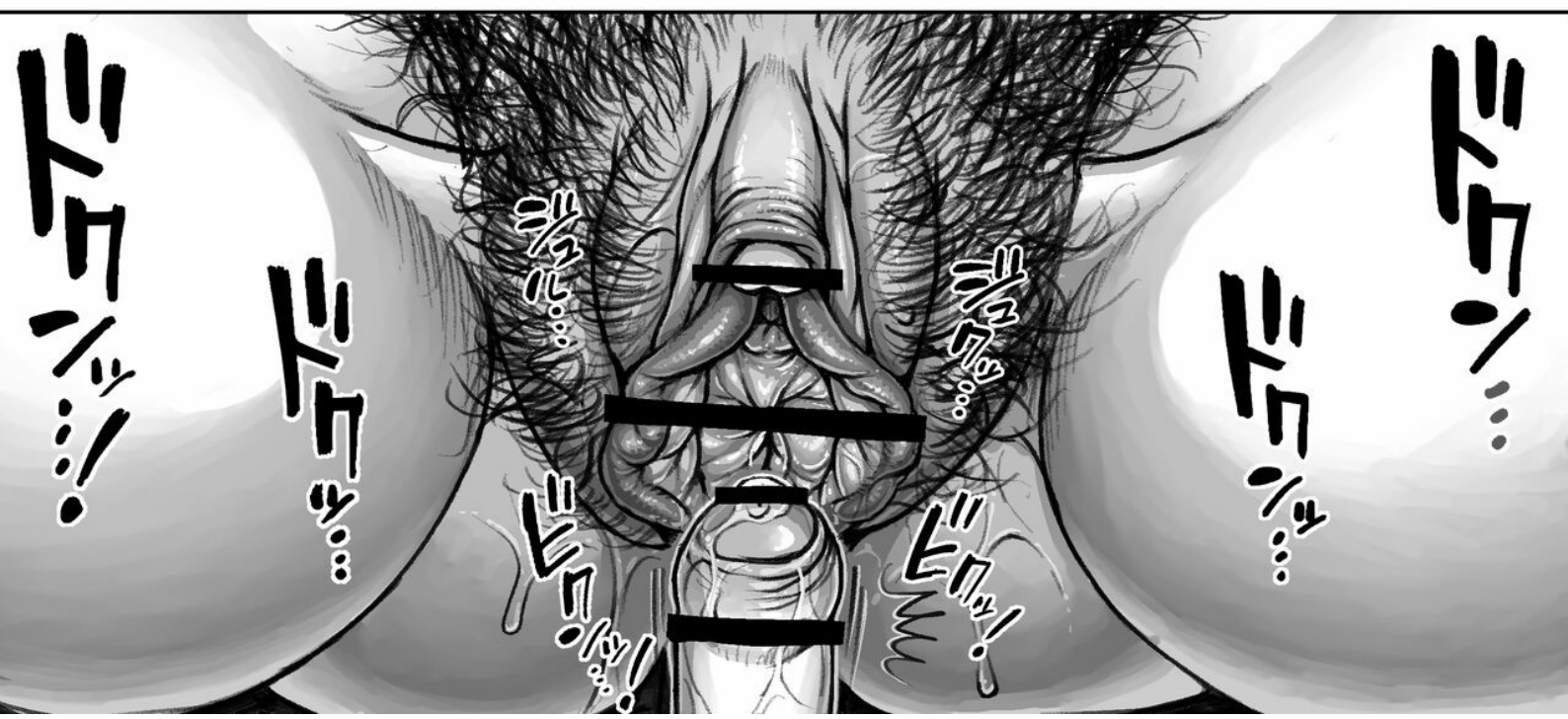
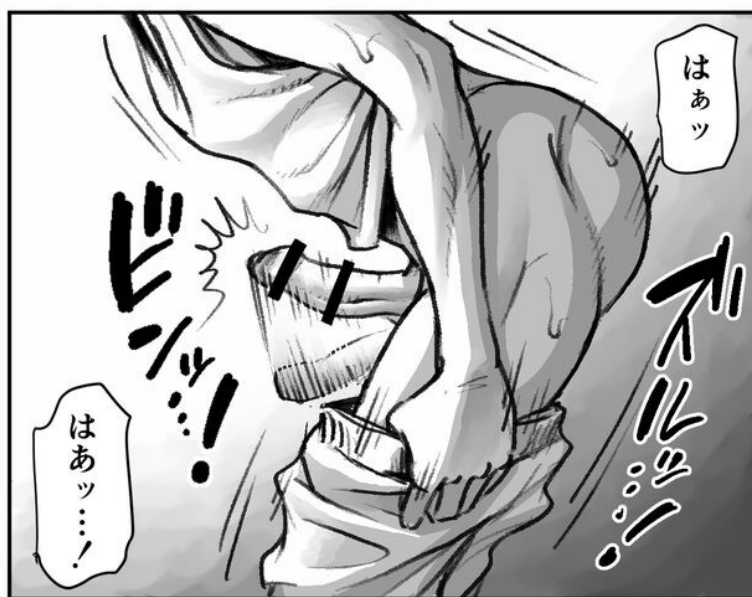
はやくっ...
あの人になりたい!!

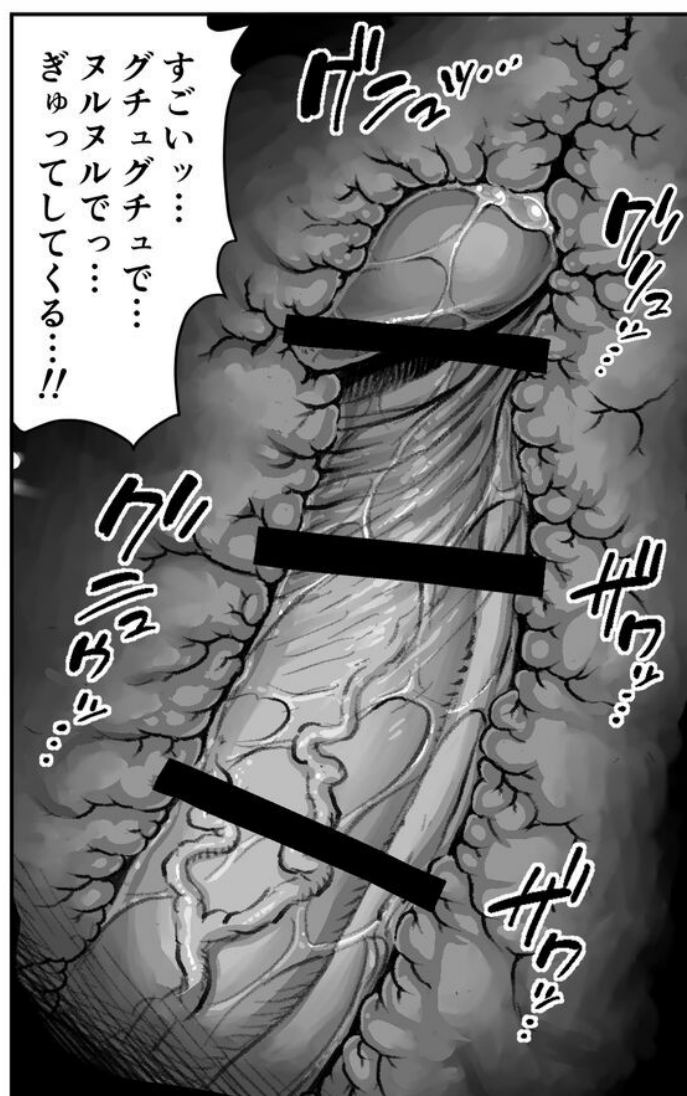


でもそれは違った。

す...
す...
す...





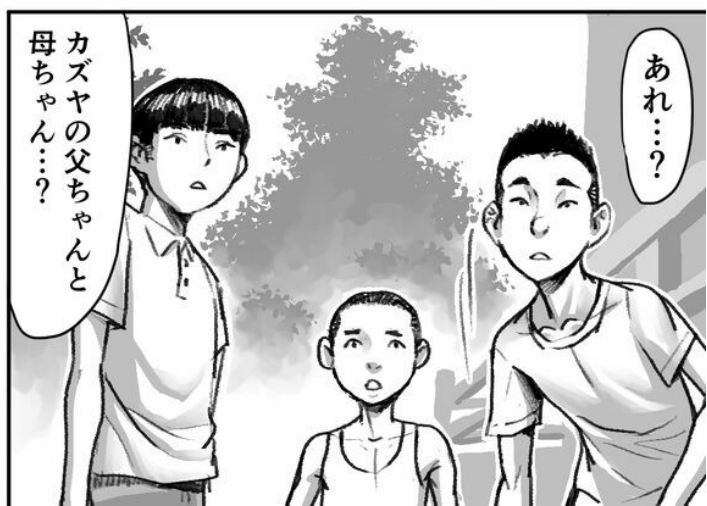
















こうなったら
扉を破るしか
ない…

お前は
離れていなさい！

だから、

お父さん。

僕と同じくらい
成績が良くて、
僕と同じくらい
まじめで…

ごめんなさい…。

朝早くからカブトムシを
取りに行つて気がついたら
こんな時間になっちゃった。

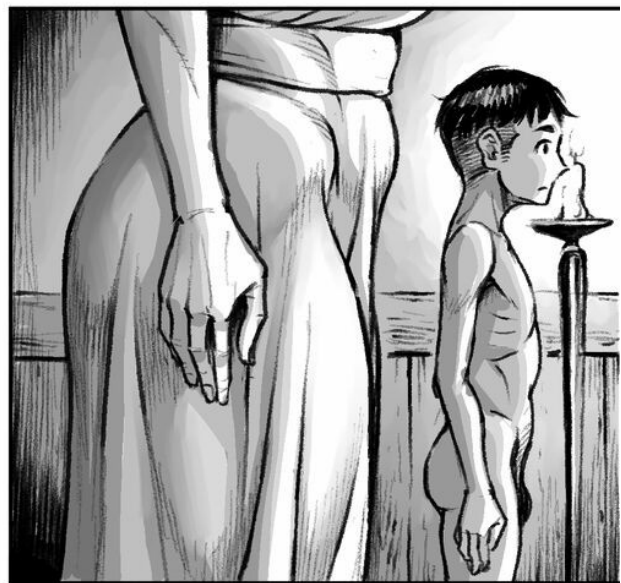
僕と同じくらい
親の言う事を聞く
「良い子」であれば…

その「良い子」は、

「僕」である
必要はない。

カズちゃん…
お母さん
本当に心配
したのよ！

まったく…一時は
どうなるかと…



ぽっ。

終

- E N D -

